

克己心

～自分に負けない心～

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】
平戸市立平戸中学校
令和8年5月13日
文責 原田 誠 第5号

これからの学校生活をより良いものにしていくために

新年度が始まり、1か月が過ぎました。生徒の皆さんも、新しい学年や学級での生活に少しずつ慣れてきたように感じています。一方で、本校において課題として捉えていることも見えてきました。

本日は、生徒の皆さん、そして保護者の皆様に、ご家庭でもぜひ一緒に考えていただきたいことがあり、学校だよりをお届けします。これからの学校生活をより良いものにしていくために、一人一人が自分自身の行動を見つめ直す機会にしてほしいと思います。

◆ 不要物の持込みについて

昨年度から継続して指導を行っておりますが、不要物の持込みが依然として見受けられます。特に、トイレ等で菓子類を飲食する行為や、授業中に菓子類を食べたり、スマートフォンを使用したりする場面も確認されています。その背景には、「少しくらいなら大丈夫」「退屈やストレスを紛らわせたい」「友達との雰囲気優先してしまう」といった気持ちがあるのかもしれませんが、しかし、そのような行為は、**真剣に授業を受けている仲間の学びを妨げる**ことにつながります。授業は、全ての生徒が安心して学ぶための大切な時間です。学校としても、この状況を重く受け止めています。

本校では、生徒が安心して学習や諸活動に取り組める環境づくりを進めるため、必要に応じて持ち物確認等の対応も検討しております。また、安全確保の観点から、ハサミやカッター等の刃物類の持込みも禁止しております。必要な場合は学校で準備したものを使用いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆ 時間を守ることに

昨年度末から繰り返し話をしていますが、本校の伝統である「3分前入室・1分前着席」が十分に守られていない状況があります。朝の登校については、昨年度と比べて遅刻が大きく減り、改善が見られています。しかし、その一方で、時間ぎりぎりに登校し、急ぐよう声をかけられても行動を変えようとしないうちの様子が見られることもあります。「**時間を守る**」ということは、**学校生活だけでなく、社会に出てからも非常に大切な力**です。時間を守る人は、「信頼できる人」として周囲から認められます。また、一人の遅れが、仲間全体の活動に影響することもあります。

ぜひ、自分自身の行動を振り返り、時間を意識した生活を心がけてほしいと思います。

◆ 素直な気持ちを大切に

服装の乱れや、かかとを踏んで歩く姿、棒ネクタイを着用していない様子など、学校生活のルールが十分に守られていない場面が見られます。先生方は、生徒の皆さんがより良い学校生活を送れるよう、日々声をかけています。しかし、時には注意を受け入れられず、反抗的な態度を取ってしまう姿もあります。

私は、「**謙虚な姿勢**」を大切にしてほしいと思っています。人の話を素直に聞くこと、間違いを認めること、教えてもらったことを受け止めること、感謝の気持ちを伝えること。そうした姿勢は、人として大きく成長するために欠かせません。

もちろん、自分の考えを持つことも大切です。しかし同時に、「**人から学ぶ姿勢**」を忘れないでほしいと思います。自分にできることには自信を持ちながらも、周囲から学び続ける謙虚さを大切にしてほしいと願っています。

今回は、あえて厳しい内容を中心にお伝えしました。しかし、私たち教職員は、平戸中学校の生徒の皆さんの良さをたくさん知っています。

生徒会活動を一生懸命頑張っている生徒、毎朝玄関をきれいに掃除してくれる生徒、校長室の前で立ち止まり、気持ちの良い挨拶してくれる生徒、自ら進んで草取りをしてくれる生徒。日々、多くの素敵な姿に出会っています。

先日、私の体調が優れなかった朝に、3年生の吉田愛喜くんが「僕の元気を分けてあげますよ！」と声をかけてくれました。また、挨拶運動をしていた副会長の久豊結月くんも、「無理しないでくださいね！」と優しい言葉をかけてくれました。本当にうれしく、心が温かくなりました。

今年度の生徒重点目標は、「**克己心 ～自分に負けない心～**」です。

自分の弱さに負けず、一人一人がさらに成長していけるよう、先生方も全力で支えていきます。これからも、生徒の皆さんのいいところをたくさん見つけ、「**いいとこみつけ**」で発信していきたいと思っています。

今回の学校だよりをご覧いただき、ご家庭でもぜひ話合いの機会を持っていただければ幸いです。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

